

# 大江町地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

## 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本町の水田面積は、現在約 483ha あり、このうち 321ha で水稻が作付されている。一方、生産調整面積は水田面積の約 35%約 169ha であり、このうち大豆・そばの作付は約 11%を占めている。

また、農家戸数に占める専業農家は 14.0%で一種兼業農家を含め 26.8%となっているが、就業人口に占める 65 歳以上の高齢者が占める割合は 58.9%と高く、今後の大きな課題となっている。

## 2 作物ごとの取組方針

町内の約 483ha(不作付地を含む)の水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図るものとする。

### (1) 主食用米

消費者ニーズに対応しながら「安全・安心」を柱にした減化学肥料・減農薬栽培米(特別栽培米)などの安定的生産に努め、米の差別化を促進するとともに、高品質・高食味の米づくりを推進する。

### (2) 非主食用米

#### ア 飼料用米

主食用米の需要が減少する中で、需要が見込まれる飼料用米を転作作物として推進する。また、地元の畜産農家とも協議を進め、連携した取り組みを模索していく。

#### イ 加工用米

出羽きりりなどの新品種の作付を含めて、今後の生産拡大に向けて推進する。また、地元の実需者との連携を強化し、需要の増加を推進していく。

#### ウ 米粉用米

米粉用米については、平成 25 年度まで作付はなかったが、今後の需要が期待される作物として検討を進めていく。

### (3) 大豆

平成 25 年の水田への大豆の作付面積は 7.33ha であり、機械の整備が進んできているが、まだ不十分であり、気象による収量・品質の変動も多い。これらのことから、水田の畑作利用可能な圃場の整備や団地化・機械化による効率的な生産を推進し、栽培管理を徹底する中で収益の確保に努める。

### (4) そば

平成 25 年の水田へのそばの作付面積は 11.92ha であり、うち 1.44ha で団地化が図られている。本町においてはそばの生産が、必ずしも所得に結びつかない現状にあり、今後、そば栽培技術の確立とともに、町内におけるそばの需要の確保による安定的な生産体制の構築が求められている。団地化・機械化による効率的な生産を推進し、栽培管理を徹底する中で収益の確保に努める。

(5) 飼料作物

需要の動向を勘案しつつ、現行の栽培面積を維持する。

(6) 野菜

別紙の(1)を振興品目として拡大する。また、これまで産地資金等を利用し誘導してきた「わらび、トマト、なす、スイカ、枝豆、たらの芽、アスパラガス、かぼちゃ」のうち、より生産拡大が進行された作物である「えだまめ、すいか、なす、トマト、わらび」を重点振興作物として位置付け、団地化の推進や高品質で付加価値の高い野菜の生産拡大を推進する。

(7) 果樹

果樹は本町農業粗生産額の多くを占め、県内有数の果樹産地となっている。今後、平坦な水田への果樹の導入は、機械化や作業効率による規模の拡大や生産性の向上が期待できることから、別紙の(2)を振興品目とし、優良品種への更新や、安全・安心な農産物の生産により消費者の信頼の確保を図っていく。

(8) 花卉

別紙の(3)を振興品目とし、中山間地域の特性を活かしながら、生産施設の条件整備、栽培技術の向上による品質の高品位化と、併せて販路拡大策を推進する。

(9) その他作物

別紙の(4)を振興品目として拡大する。中でも、あおそなどは地域の文化を伝承していく特産品として、独自の加工品の生産などが進んでおり、今後の拡大も考えられる。

(10) 不作付地の解消

不作付地(約 48ha)の解消については、今後 3 年間で上記作物の作付により解消を図る。

### 3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 25 年度の作付面積 (ha)	平成 26 年度の作付予定面積 (ha)	平成 28 年度の目標作付面積 (ha)
主食用米	321.04	312.57	309.69
加工用米	0.00	1.28	1.40
米粉用米	0.00	0.28	0.31
飼料用米	0.00	0.42	0.50
大豆	7.33	6.37	7.00
そば	11.92	14.61	16.07
飼料作物	1.00	1.00	1.00
その他地域振興作物	85.80	85.93	94.52
野菜	57.19	56.17	61.78
果樹	26.27	27.35	30.09
花卉	2.11	1.98	2.18
その他作物	0.23	0.43	0.47

#### 4 平成 28 年度に向けた取組及び目標

取組 番号	対象作物	取組	分類 ※	指標	平成 25 年度 (現状値)	平成 26 年度 (予定)	平成 28 年度 (目標値)
1	えだまめ	地域特産品の生産	ウ	実施面積	6.71 ha	6.73 ha	7.40 ha
	すいか			実施面積	8.95 ha	8.50 ha	9.35 ha
	なす			実施面積	3.45 ha	3.62 ha	3.98 ha
	トマト			実施面積	2.87 ha	2.91 ha	3.20 ha
	わらび			実施面積	10.44 ha	10.21 ha	11.23 ha

※「分類」欄については、要綱(別紙 10)の2(5)のア、イ、ウのいずれに該当するか記入して下さい。(複数該当する場合には、ア、イ、ウのうち主たる取組の記号を**いずれか 1 つ記入**して下さい。)

ア 農業・農村の所得増加につながる作物生産の取組

イ 生産性向上等、低コスト化に取り組む作物生産の取組

ウ 地域特産品など、ニーズの高い製品の産地化を図るための取組を行いながら付加価値の高い作物を生産する取組